

# 人 事

9月定例会において、次のとおり任命・推薦することに同意しました。

### 〔教育委員〕

（任期：平成26年10月1日～平成30年9月30日）

武田 政春 氏

### 〔人権擁護委員〕

（任期：平成27年1月1日～平成29年12月31日）

伊藤 一徳 氏

# 意見書

9月定例会最終日（9月22日）の本会議に議員提案として次の議案が上程され、表決の結果、全会一致で可決され、意見書については関係機関に送付されました。

### ◎議提第5号「手話言語法制定を求める意見書について」

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや表情を使う独自の語彙や文法体系を持つ言語で、聞こえる人たちの音声言語と同様に、

大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として守られてきました。

しかし、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史がありました。

平成18年に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されており、国内では、平成23年に成立した「改正障害者基本法」において「全て障害者

者は、可能な限り、手話を含む言語、その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められました。

法律では、国・地方公共団体に對して、情報保障施策を義務づけていることから、政府及び国会に對し、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定することを求め、地方自治法の規定に基づき、関係大臣及び国会に意見書を提出するものである。

12月定例会は  
12月5日(金)  
開会予定です。

詳しくは  
ホームページをご覧ください



## 白石市議会基本条例 市民フォーラム 『議会と語ろう!』を 開催しました

12月定例会での白石市議会基本条例の制定を目指して、10月19日にしんきんホール（仙南信用金庫本店）において、市民フォーラムを開催しました。

市民約90名の参加があり、第一部で基調講演「市民のための議会を目指して～議会基本条例はなぜ必要か～」(講師：東京財団研究員の中尾修氏)、第二部で市民代表2名・議員2名と中尾修氏によるパネルディスカッション「市民と歩む議会へ」を行い、さまざまなご意見・ご提案をいただきました。



白石市議会基本条例市民フォーラム

# 編集後記

今年の夏は、記録的な暑さが続きました。10月に入り、朝晩はすっかり寒くなり、稲の収穫作業も進んでいるこの頃です。

蔵王の山並みも紅葉が進み、行楽シーズンに入ります。しかし、先月の御嶽山の噴火では、多くの登山者が犠牲となりました。広島市の土砂災害も冷めやらぬ、自然災害の怖さを知らされました。

「想定外」や「災害は忘れた頃にやって来る」という言葉が、日常のこととなるような自然災害が続きます。

「自分の身は、自分で守る」が基本です。

市では、新しい災害ハザードマップの準備を進めております。いま、ご自宅にあるマップを、いちばん目に付くところに貼って、日々災害に備えましょう。

議会広報特別委員会

大野 栄光

### 議会広報特別委員会 委員

- 委員長 大野 栄光
- 副委員長 山田 裕一
- 委員 澁谷 政義
- 委員 伊藤 勝美
- 委員 菅野 恭子
- 委員 大町 栄信